



みなみっ子

学校教育目標

○かしこく

○やさしく

○たくましく

令和7年6月4日(水)

南城市立大里南小学校

文責 校長 與儀 毅

各地でハーリー（ハーレー）が終わり、季節としては梅雨明けも近いと思いますが、しばらくは雨が続く予報です。雨天時は晴れている日より視界が悪く、危険度が高まります。登下校の安全指導を学校においても実施していますので、各家庭においても声かけをお願いします。特に、登下校に慣れてきた1年生への声かけをお願いします。

日々の授業改善の取組:主体的に学ぶ児童の育成について

学校では、年間1年生で850時間、2年生で910時間、3年生で980時間、4年生から6年生(中学生も)1015時間、学習をしています。その1時間1時間を教師も児童も大切に、「わかる」「できる」楽しさを味わうことができると「確かな学力」は身につくと思います。

各担任は、日々の授業をする前に教材研究を行い、児童一人ひとりが主体的に学習に向かうよう取り組んでいます。授業では、一人で課題解決をする場面、ペアで考え合う場面、グループで考え合う場面、学級全体で考え合う場面など多様な学習形態を取り入れて、児童が主体的・対話的で深い学びが展開されるようにしています。

これからの世の中は先行きが不透明で、どのような技術革新があり仕事が変わっていくか見通しが立ちにくい状況です。一つの説によると今ある仕事の半数以上をAI等が対応し、職業としてなくなるとも言われています。

そのような状況なので、児童一人ひとりが主体となって学び続けていく力を高めることが必要です。そのためにも本校では、授業改善を徹底していきたいと思っています。

今年度の家庭における学習の取組について

本校では、年度初めに家庭学習についても「児童が主体的に学べる」取組を行う方法を各学年で検討しました。各学年においては以下に示す宿題の良さや課題、家庭学習の良さや課題を踏まえ、方法を決めています。これまでの一斉に宿題を課す方法を継続する学年と家庭学習を推奨している学年があります。

宿題について

児童にとっての良さ

◎学習することを自分で決めなくて良い。

◎学習内容の振り返りができる

保護者にとっての良さ

◎子どもが何を学習すれば良いかを把握できる

教師にとっての良さ

◎児童に授業時間外での学習を促すことができる

◎授業で扱いきれなかった場合の対応策になる

児童にとっての課題

●学習が達成できている子には必要性が低い。一方、課題達成ができていない子には、教えてくれる(サポート)してくれる人がいないと取り組むことが難しい。

保護者にとっての課題

●つつい宿題しなさいという言葉が発してしまう。

教師にとっての課題

●学力が向上するとは限らない

●マル付けなど確認に時間を要する

家庭学習について

家庭学習の良さは、それぞれの学習状況に応じて学習内容を決定できることや、自分で計画を立て学習する習慣ができ、自学自習する力が身に付くなどがあります。一方課題としては、楽なものに走り、自分自身の課題に応じた計画を立てることが難しい、やる気の継続が難しいなどがあります。

家庭学習について学習の仕方を各学年で確認します。なお、学校HPにおいても「家庭学習のヒント」を掲載していますので、各家庭においても参考にし、引き続き子供たちを励ましてください。